

「研究科長賞」について

平野吉直 信州大学大学院教育学研究科長

信州大学大学院教育学研究科における「研究科長賞」は2007年度に設けられました。この賞は、その年度に提出された修士論文の中から、研究委員会による厳正な審査に基づき研究科長が最も優秀であると認めたものに授与されるものです。（卒業式・学位記授与式後の謝恩会において授賞式が行われます。）そして、受賞した論文は、公開予定がなければ著者の希望により『信州大学教育学部研究論集』に学術論文として掲載されることになっています。

2013年度の研究科長賞は、次の論文に授与されることになりました。

論文題目名：「大学生の反すうに対するメタ認知的介入の効果」

著者：屋敷千晴

所属：学校教育専攻臨床心理学専修

受賞論文は、独創性と教育学的意義、論証方法、論旨の明晰さと説得力等の観点からみて、特に秀でたものであることが認められました。なお、研究科長賞に専修から推薦された他の論文も優れたものであり甲乙つけがたい評価でした。このことから教育学研究科における修士論文のレベルアップが図られていることが改めて実感されるとともに、今後の研究の更なる進展を願ってやみません。

なお、受賞論文は本研究論集への掲載を予定しておりましたが、「信州心理臨床紀要，2014，vol. 13」（信州大学教育学部心理教育相談室）に同名の題目で発表されたとのことで、本研究論集には掲載しないことになりました。